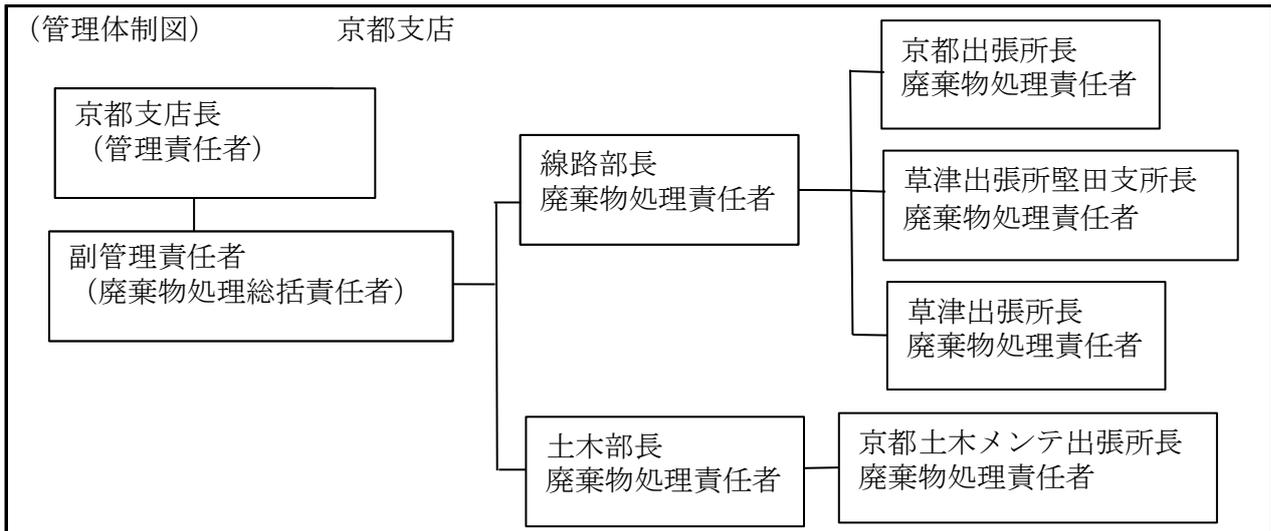


様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書		令和 7年 6月26日
滋 賀 県 知 事 様		
提出者		
住 所 京都府 京都市下京区 油小路通塩小路下ル 東油小路町 533-6		
氏 名 大鉄工業株式会社 京都支店 執行役員 支店長 森脇 直也		
電話番号 075-352-1250		
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。		
事業場の名称	大鉄工業株式会社 京都支店	
事業場の所在地	京都府 京都市下京区 油小路通塩小路下ル 東油小路町 533-6	
計画期間	2025年 4月 1日 ~ 2026年 3月 31日	
当該事業場において現に行っている事業に関する事項		
①事業の種類	建設業 06 総合工事業	
②事業の規模	59億円	
③従業員数	138人	
④産業廃棄物の一連の処理の工程	・中間処理、最終処分は委託契約で行う(太線部分) 施工現場→収集運搬 → 中間処理 → 最終処分 ↓ 再資源化等	

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙①のとおり	—
	排出量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) ・採用する工法、使用する材料を工夫し、排出量を削減		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙①のとおり	—
	排出量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 混合廃棄物の排出量の低減		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 分別による混合廃棄物排出量の低減
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 施工計画策定段階で分別排出する廃棄物を明確にする

(第2面) 別紙①

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（2024年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスファルトがら	木くず
	排出量	409.8 t	97.2 t	348.6 t
	産業廃棄物の種類	汚泥	紙くず	混合廃棄物 (管理型)
	排出量	16.3 t	0.1 t	86.7 t
	産業廃棄物の種類	その他がれき類	廃プラスチック類	鉱さい
	排出量	2117.0 t	6.5 t	5.6 t
	産業廃棄物の種類	混合廃棄物 (安定型)	金属くず	
	排出量	14.9 t	0.4 t	
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスファルトがら	木くず
	排出量	405 t	95 t	345 t
	産業廃棄物の種類	汚泥	紙くず	混合廃棄物 (管理型)
	排出量	15 t	0.2 t	85 t
	産業廃棄物の種類	その他がれき類	廃プラスチック類	鉱さい
	排出量	2115 t	6 t	6 t
	産業廃棄物の種類	混合廃棄物 (安定型)	金属くず	
	排出量	14 t	0.5 t	

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	— t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	— t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙②のとおり	—
	全処理委託量	— t	— t
	優良認定処理業者への処理委託量	— t	— t
	再生利用業者への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 処理委託業者の処理能力を確認し委託契約を行う ・ 優良認定業者の選定促進 			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（2024年度）実績】				
①現状	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスファルトがら	木くず
	全処理委託量	409.8 t	97.2 t	348.6 t
	優良認定処理業者への処理委託量	9.0 t	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	409.8 t	97.2 t	348.6 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	汚泥	紙くず	混合廃棄物 (管理型)
	全処理委託量	16.3 t	0.1 t	86.7 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	16.3 t	0.1 t	86.7 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	その他がれき類	廃プラスチック類	鋳さい
	全処理委託量	2117.0 t	6.5 t	5.6 t
	優良認定処理業者への処理委託量	543.1 t	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	2117.0 t	6.5 t	5.6 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	金属くず	混合廃棄物 (安定型)	
	全処理委託量	0.4 t	14.9 t	
優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t		
再生利用業者への処理委託量	0.4 t	14.9 t		
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t		
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙③のとおり	—
	全処理委託量	— t	— t
	優良認定処理業者への 処理委託量	— t	— t
	再生利用業者への 処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者への 処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) <ul style="list-style-type: none"> ・ 混合廃棄物の排出量の低減の取組み ・ 委託処理業者の処理能力を確認し、委託契約を行う ・ 優良認定業者の選定促進 		
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスファルトがら	木くず
全処理委託量	405 t	95 t	345 t
優良認定処理業者への 処理委託量	40 t	0 t	0 t
再生利用業者への 処理委託量	405 t	95 t	345 t
認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t
産業廃棄物の種類	汚泥	紙くず	混合廃棄物 (管理型)
全処理委託量	15 t	0.2 t	85 t
優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t
再生利用業者への 処理委託量	15 t	0.2 t	85 t
認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t
産業廃棄物の種類	その他がれき類	廃プラスチック類	鉱さい
全処理委託量	2115 t	6 t	6 t
優良認定処理業者への 処理委託量	600 t	0 t	0 t
再生利用業者への 処理委託量	2115 t	6 t	6 t
認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t
産業廃棄物の種類	混合廃棄物 (安定型)	金属くず	
全処理委託量	14 t	0.5 t	
優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	0 t	
再生利用業者への 処理委託量	14 t	0.5 t	
認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t	
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t	